



乱世と呼ばれたこの時代に終止符を打つべく育てられた

ひとりの美しき戦士がいた。

あずみ——少女にして刺客

監督:北村龍平 原作:小山ゆう「あずみ」(小学館「ビッグコミックスベリオール」掲載) 脚本:水島力也/桐山 聡
製作統括:児玉守弘/氣賀純夫/亀井 修/坂上直行 企画:濱名一哉/遠谷信幸 プロデューサー:山本又一朗/中沢敏明
共同プロデューサー:佐谷秀美 ラインプロデューサー:大里俊博 美術監修:西岡善信 撮影:古谷 巧 照明:高坂俊秀 録音:小原善哉 美術:林田裕至 編集:掛須秀一 音楽プロデューサー:岩代太郎
主題歌「わがい!」:我那覇 美奈 (FLME) オリジナル サウンドトラック盤:フォーライフ ミュージックエンタテインメント
「あずみ」製作委員会:日本ヘラルド映画 TBS 電通 小学館 アミューズピクチャーズ 東宝 イマジカ セテックインターナショナル トライストーン エンタテインメント
配給:東宝 配給協力:日本ヘラルド映画 ©2003「あずみ」製作委員会

携帯&PC 共通URL www.azumi-movie.jp

最初の使命は、愛する友を殺すこと。

あずみ

上戸 彩

オダギリジョー 岡本 綾 小橋賢児/成宮寛貴/金子貴俊/石垣佑磨/小栗 旬
佐野泰臣/鈴木信二/瑛太/山口翔悟 リョウ/伊武雅刀/佐藤 慶 北村一輝 竹中直人 原田芳雄



斬りたくなくても、斬らされる——純粋に生きる若き戦士たちが、美しく残酷な運命に立ち向かう。

**累計800万部、ベストセラーコミック『あずみ』
監督・北村龍平、主演・上戸彩で初の映像化…
「日本のチャンバラで世界へ挑む!」**

澄んだ瞳の美しき少女が、使命のため、躊躇無く敵の首を斬り落とす…
徳川家康が江戸に幕府を開いたころ。戦乱の世に終止符を打つべく、
そして人々が安心して暮らせる日々を作るため、
戦の種に繋がる者たちを暗殺する—「枝打ち」という過酷な使命を背負って生きる一人の美しき戦士がいた。
少女にして刺客—その名はあずみ。

あまりにも鮮烈な殺戮描写と過酷で壮大な内容が漫画読者の心を驚嘆みにした、小山ゆう氏による原作漫画は、1994年の連載開始当初から大絶賛されてきた。8年が経過した今も、数多くの読者の声援に支えられ『ビッグコミックスベリオール』誌上で連載が継続しており、単行本も既刊が27巻、合計で800万部以上販売されている(2003年2月現在)。

98年には第1回文化庁メディア芸術祭漫画部門で優秀賞と第43回小学館漫画賞のW受賞を果たし、人気の高さ、クオリティーの高さ共に、『折紙つき』の作品である。

この原作に対し、これまで幾人も映像作家たちが映像化すべく手を上げてきたが、その過激にして気高き世界観、個性的な配役、何よりも壮大なスケールに阻まれ、これまで実現に至ったものはいなかった。

2000年冬・夕張映画祭で、プロデューサー・山本又一朗は、スピード感溢れるアクションと凶暴なバイオレンス描写でテンションの高い映像作品『VERSUS』を観て衝撃を受ける。その場で監督・北村龍平と会い、彼なら原作のスピリットを活かしつつ、原作を超える映像世界を創れると確信。『あずみ』の監督として、北村龍平に白羽の矢を立てた。

長編デビュー作となったこの『VERSUS』が、各国の映画祭で世界中の映画会社の注目を浴び、熱烈的に支持を得た北村監督は、昨年ハリウッドのミラマックス社と監督契約も結んだ新進気鋭である。

主演は、これが映画初出演となる上戸彩。昨冬、人気ドラマ「3年B組金八先生」で性同一性障害の女子中学生・鶴本直役を演じて話題を呼んだ彼女は、北村監督の強い希望で主役に抜擢された。普段は天真爛漫でありながら存在感があり、「あずみ」役には上戸彩しかないと北村監督は確信したという。

その上戸彩を囲むキャストには、「あずみ」の仲間たちに、成長著しいフレッシュな有望株が顔を揃える。TVドラマ「高校教師」の成宮寛貴をはじめ、ミュージカル「オケビ」の小橋賢児、『ウォーターボーイズ』(01)の金子貴俊、「あずみ」を狙う刺客にオダギリジョー、そして「身毒丸」など蜷川幸雄の舞台上で活躍する松本実や楠英雄などの北村組常連の若手個性派俳優達が脇を固める。

一方、ヴェテラン俳優陣も物語の要所を締める。「あずみ」の師・爺こと小幡月齋に原田芳雄。最初の標的となる大名・浅野長政に伊武雅刀。「あずみ」らが狙う武将・加藤清正に竹中直人。また、高僧・南光坊天海は佐藤慶が演じる。

これだけのキャストを揃え、「黒澤明監督のような正統派時代劇を作りたい」と北村監督は言う。「世界に向け、日本のチャンバラがどれほどカッコイイか、見せてやりたい」と意欲を燃やす。日本国内のみならず、世界をも揺るがす大型エンターテインメントが、今、始動する。



時代劇を超えた JIDAIGEKI
ジダイゲキ

徳川家康が江戸に幕府を開いたころ、戦乱の中で親を失い、孤児となった幼子あずみは、爺(小幡月齋)に拾われ、仲間の孤児と共に最強の戦士となるべく過酷な修練を積んで育てられた。
爺は徳川家より“罪無き人々の幸せを奪う惨い戦(むごいいくさ)を終結させるため、反乱を起こそうとする者を事前に抹殺する最強の戦士を育てて欲しい”という密命を受けていた。
10年の歳月が流れ、爺はたくましく育った10人の戦士たちに修練の終了と、今後の使命を宣言する。使命の前に希望と闘志を燃やす10人の若者たち。だが彼らに残酷な運命が待ち受けていた。
爺は言う。「この先お前たちに与えられる使命は全て過酷を極める。刺客というのは殺す相手を選べぬのだ。ここで最後の試練を与える。殺し合え。」

ほのかに想いを寄せていた『なち』と組んでしまったあずみは驚愕する。だが、使命のため殺し合う仲間たちの中で、二人は逃げ出すこともできなかった。生き残った『うきは』『ひゅうが』『あまぎ』『ながら』と共に、生き残ってしまったあずみは育てられた谷を出て、初めて外界へと旅立ってゆく。
最初の指令は、旧豊臣恩顧の有力大名・浅野長政と加藤清正の暗殺であった。
この指令を難くこなしあずみたちは、旅芸人一座の美少女やえと知り合う。ひゅうがが一目惚れをしたりと、束の間の休息を楽しんでいたが…

清正は側近・井上勘兵衛の機転で、影武者に差し替えられていた。
勘兵衛は性質(たち)は悪いが腕の立つ佐敷三兄弟を招集。あずみたちの掃討を命じる。
また配下の忍者・飛猿に命じ、虐殺を偏愛する最上美女丸をも呼び寄せせる。追うだけでなく、追われるようになったあずみたち。しかもあずみたちと間違われ、やえの一座が襲われてしまう。
友と殺し合い、憎くもない敵を斬り、罪もない人々を見殺しにし…と、あまりに酷い結果を生む自らの宿命に疑問を感じ始めるあずみだったが、清正は悩む隙間も与えず、大きな罠を仕掛ける。
あずみたちはこれ以上ない残酷な運命に導かれているとも知らず、清正に闘いを挑む。

映画史上初!怒涛の200人斬り。

時代劇といえば、黒澤明監督の「七人の侍」「用心棒」から「影武者」などの大活劇が代表されるが、北村監督も“観客が純粹に楽しめる大活劇を”とクライマックスでは、あずみ1人对200人以上の侍、野武士たちというとてもないシーンを用意した。東京と京都から殺陣の出来る選りすぐりの役者を集め、ダンスなどで鍛えた抜群のリズム感を持ち、2ヶ月以上の撮影を155日間無休で乗り切った上戸との大バトルは、今までの映画には全く無かったアクションだ。
荒唐無稽な世界観でありながら、入念に計算されたリアリティー溢れる戦い、そして大迫力の映像表現が展開される。百回は一見にしかず。映画が誕生して100年あまり、誰もまだ観たことのない時代劇を体感せよ。

**日本より先に、ハリウッドが目をつけた男——
とてつもないインパクトを放つ映像作家・北村龍平。**

「あずみ」の映像化に挑むのは、スピード感溢れるアクションと圧倒的映像センスで世界から注目を浴びる北村龍平監督。17歳でオーストラリアのスクール・オブ・ヴィジュアルアーツに飛び込んだ北村監督は、帰国後、映像集団ナバーンフィルムズを結成。6人のクルー、30万円の超低予算で制作したアクションホラー「ダウト・トゥヘル」が、第1回インディーズムービー・フェスティバルでグランプリを受賞。渡部篤郎主演・プロデュースによる中篇フィルムノワール「ヒート・アフター・ダーク」で劇場デビューを果たす。
続く長編第一作「VERSUS—ヴァーサス—」(2001年公開)が世界中の映画祭を席巻、絶大な評価を得る。「日本人には数少ない独自の感性に驚いた。」と言われ、米・ミラマックス社と2作品のファーストロック契約を結び、ハリウッド進出作も準備中。7人の監督による短編オムニバス企画 jam Filmsの一作である「the messenger—弔いは夜の果てで—」が2002年に公開、さらに人気漫画家高橋つとム原作のSF大作「ALIVE—アライヴ—」、堤幸彦監督との対決企画から生まれた「荒神」などが公開準備中である。



5月10日(土)よりロードショー!
東西線木場駅イートーヨーカドー3F・駐車場完備 定額入場制 **109シネマズ木場**
☎ 03(5683)0109
横浜市営地下鉄センター南駅前・駐車場完備 定額入場制 **109シネマズ港北**
☎ 045(948)5151
PG-12
12歳未満の方には、なるべく保護者が同伴してください。